

## 第3回ICCC勉強会 「コーディネーターの実際」報告書

### (1) 概要

#### ①目的

- ・医療職・福祉職の連携で地域の支援体制を独自に整えた花巻市の事例と、医療面について岩手県医療的ケア児支援センターと並走する宮古市の事例から、地域の支援の在り方について考える
- ・地域の支援者の困りごとについて、共有し、アドバイスをもらうことで明日からの支援の参考にしてもらう

#### ②開催日時・場所

令和6年2月22日（木）13:00～16:00 オンラインにて開催

#### ③参加者記録 参加者総数 32名

ICCC加入コーディネーター	13名
非加入コーディネーター	2名
支援者養成研修受講者	15名
未受講者	2名

#### ④内容

##### 第1部「地域の支援者をつなぐ」

- ・花巻市医療的ケア児支援ステーションについて
- ・県・地域のコーディネーター並走について（宮古圏域の事例）

##### 第2部「なんでも質問コーナー」

※アドバイザー

埼玉県東松山市総合福祉エリア 相談支援専門員 田口 純子 氏

岩手大学教育学部特別支援教育科 教授 柴垣 登 氏

岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口管理責任者 小山 耕太郎

岩手県医療的ケア児支援センター 医療的ケア児等コーディネーター 大力 聡美

### (2) ふり返りと課題

- ・花巻市の事例のように、現場の話を聞き、地域で考えて作りだすことが非常に重要  
福祉と医療の連携による面的整備、情報共有のあり方については各地で参考となる事例である。
- ・参加者の感想をもらう時間をじっくり取れると良いと感じた。

### (3) アンケート

#### ①回答の概要

参加者32名のうち、14名から回答あり（回答率44%）

#### ②回答結果

- ・第1部「地域の支援者をつなぐ」 よく分かった13名 どちらとも言えない1名
- ・第2部「なんでも質問コーナー」 よく分かった14名
- ・参考になり、自分の業務に取り入れたいことがあった 13名
- 参考になったが業務に取り入れるのは難しいと感じた 1名